

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	公務員試験対策 2 (Preparation course for civil service examination 2)					担当教員	山川 智子 (ヤマカワ トモコ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目 / 協同学修型AL
		対策講座	選択	0 単位	1 年次	後期		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目 / 地域志向科目
		対策講座	選択	0 単位	1 年次	後期		

① 授業のねらい・概要	
<p>例年春から夏にかけて行われる各種の公務員試験対策における重点科目は、①文章理解、②政治経済、③判断推理、④数的推理である。文章理解は中学校や高校までの現代文・古文・英文も含む内容で、教養試験においてはもっとも出題数が多い。文章の趣旨を理解するだけでなく、論理性も要求される。文章の読解力を高めると共に論作文試験に必要な書き方のポイントも体得する。判断推理・数的推理は、公務員試験独特の内容で合否の決め手となり得る。判断推理がクイズやパズルのような推理問題、教的推理が中学校から高等学校までの数学の知識を基盤としている。政治経済は他の必修科目・選択科目でも習うはずだが、さらに強化を図るため、必要に応じて時事問題にも触れる。授業時間以外の学修を効果的に行うことで、重点科目の補強を図る。</p>	
② ディプロマ・ポリシーとの関連	
地域社会に貢献する姿勢 / コミュニケーション能力 / 職業人として通用する能力 / 情報収集・分析	
③ 授業の進め方・指示事項	
<p>公務員の筆記試験（一次試験）合格に必要な基礎知識を理解し、一般的な解法パターンを身に付ける。基礎学力と得点力を身につけるために、重点科目である数的推理と判断推理を中心に、SPI形式も含めて錬成を行う。最初に基本的な学習の目安を提示し、現時点での理解度によって、進捗や課題の内容を適宜調整する。</p>	
④ 関連科目・履修しておくべき科目	
<p>「公務員試験対策 1・2」は理解を深めるため、通年で履修することが望ましい。地方公務員（市役所・県警等）を本気で目指す者が主な対象だが、就職の筆記試験に備えたい者にも受講を勧める。但し、単位にはならないので注意する。</p>	
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。	
<p>西川マキ『1週間で解き方がわかる数的推理 いちばんやさしい公務員試験テキスト&amp;問題集』（2022）インプレス 西川マキ『1週間で解き方がわかる判断推理 いちばんやさしい公務員試験テキスト&amp;問題集』（2022）インプレス 西川マキ『1週間でSPI3の解き方がわかるテキスト&amp;問題集』（2023）インプレス</p>	
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。	
<p>『令和8年度試験完全対応 公務員試験 速攻の時事』（2026）実務教育出版 『令和8年度試験完全対応 公務員試験 速攻の時事 実戦トレーニング編』（2026）実務教育出版</p>	
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
<p>本気で公務員試験を目指すなら、まず今の自分の実力を冷静に把握することが不可欠である。その上で、試験が行われる4年生の春から初夏までの持ち時間を踏まえて、それぞれに適した実力の錬成が必要となる。勢いや気持ちだけでは問題は解けない。解き方をきちんと押さえて、その上で何度も何度も繰り返して解いてみる。この地道な作業こそが、採用試験合格への王道となる。</p>	
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安	
<p>(1) SPIや公務員試験過去問の文章要旨理解や並べ替え、用語の意味を平均80%以上正答できる。 (2) 数的推理・判断推理の基礎的な解法を理解し、標準的な問題を平均60%以上正答できる。 (3) 一般的な時事問題や社会状況を踏まえて、時間内に小論文として明文化することができる。</p>	

⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	文章理解・SPI	公務員過去問相当を8割以上正答できる。	公務員過去問相当を7割程度正答できる。	公務員過去問相当を6割程度正答できる。	公務員過去問相当を5割程度正答できる。	公務員過去問相当に殆ど歯が立たない。
(2)	数的推理・判断推理	公務員過去問相当を6割以上正答できる。	公務員過去問相当を5割程度正答できる。	公務員過去問相当を4割程度正答できる。	公務員過去問相当を3割程度正答できる。	公務員過去問相当に殆ど歯が立たない。
(3)	時事問題、小論文	社会状況を踏まえた極めて秀逸な小論文を規定時間内に完成させることができる。	社会状況を踏まえた秀逸な小論文を規定時間内に完成させることができる。	社会状況を踏まえた小論文を規定時間内に完成させられる。誤字脱字が殆どない。	社会状況を多少踏まえた小論文を規定時間内に完成させられるが、誤字脱字がある。	社会状況を踏まえておらず小論文を規定時間内に完成させられない。誤字脱字多い。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法							
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	40%	20%	10%		30%		100%
(1) 文章理解・SPI	10%	5%			10%		25%
(2) 数的推理・判断推理	20%	10%	5%		10%		45%
(3) 時事問題、小論文	10%	5%	5%		10%		30%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	解法を身につけるために、解答のみならず、原則として解説も配布する。授業以外でも、個別の指導も要請があれば行う。添削した課題は各自に返却する。						
⑪ 授業計画と学習課題							
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）					
1	オリエンテーション～公務員試験のあらましと対策を考える	過去問からの課題と試験までのスケジュール 120分					
2	数的推理：テキスト第1日分+SPI関連問題、時事①+文章①	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
3	数的推理：テキスト第2日分+SPI関連問題、時事②+文章②	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
4	数的推理：テキスト第3日分+SPI関連問題、時事③+文章③	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
5	数的推理：テキスト第4日分+SPI関連問題、時事④+文章④	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
6	数的推理：テキスト第5日分+SPI関連問題、時事⑤+文章⑤	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
7	数的推理：テキスト第6日分+SPI関連問題、時事⑥+文章⑥	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
8	数的推理：テキスト第7日分+SPI関連問題、時事⑦+文章⑦	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
9	判断推理：テキスト第1日分+SPI関連問題、時事⑧+文章⑧	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
10	判断推理：テキスト第2日分+SPI関連問題、時事⑨+文章⑨	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
11	判断推理：テキスト第3日分+SPI関連問題、時事⑩+文章⑩	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
12	判断推理：テキスト第4日分+SPI関連問題、時事⑪+文章⑪	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
13	判断推理：テキスト第5日分+SPI関連問題、時事⑫+文章⑫	授業内容の振り返り課題と時事問題と文章理解 120分					
14	判断推理：テキスト第6日分+SPI関連問題、小論文の錬成①	試験対策としての内容の振り返りと小論文課題 120分					
15	判断推理：テキスト第7日分+SPI関連問題、小論文の錬成②	試験対策としての内容の振り返りと小論文課題 120分					
⑫ アクティブラーニングについて							
課題内容を各回の始めにその解説と考察を行い、学修内容をフィードバックする。試験に出る知識を講釈するだけでなく、試験に勝つための勉強方法も惜しみなく披露する。							

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	